

令和元年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 7-1-7 姉妹交流補助事業

【予算反映等改善事項】

本市立江小学校と友好都市・本別町勇足小学校の姉妹校交流については、両小学校の児童・保護者・教職員が、隔年で相互訪問を行い、令和元年度で29回を数え、互いの地域の自然・文化・伝統に触れあうなど親交を深めている。

30回目の節目となる令和2年度には、勇足小学校が本市を訪問し、当事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、勇足小学校や立江小学校、受け入れに協力をいただいている「立江小学校しらさぎ育成会」の役員会と協議をした結果、現地交流については中止とすることになった。現地交流は中止になったが、コロナ禍により交流の火を絶やさぬよう、今年度は、各学年間での手紙の交換、学校だよりや学習レポート、特産物の交換、高学年でのWeb会議システム「ZOOM」を利用した交流活動などを行い、新型コロナウイルス感染症による「新しい生活様式」を参照した取組も開始している。

これからの交流活動については、両校の児童数が減少傾向にあることも踏まえ、現地の相互訪問を含めて交流のあり方を検証していく必要があると考える。当面については、新型コロナウイルス感染症や東京オリンピックの開催、勇足小学校の修学旅行の実施などを考慮して、両校とも現地訪問は令和3年度まで延期することで協議がまとまっている。これまでの間、お互いのまちの自然や文化、伝統について児童がより深く学ぶことができる方法や保護者への現地交流にかかる意見を十分に聞き、当該事業が効果的になるよう準備を進めていきたいと考える。